



Hiroshima.pref

広島県

平成30年度(案)

関連

「広島県中山間地域振興計画」

ひと。しごと。くらし。100年先の未来につなごう

事業

1 平成30年度の基本的な方向

■ 「笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域」の実現を目指して

- 平成26年度に策定した「中山間地域振興計画」に基づき、地域に暮らす方々が、将来に希望を持ち、「笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域」を目指して、多様な力でつながる《人》づくり、夢をカタチにできる《仕事》づくり、安心を支える《生活環境》づくりの3つを柱に、これまで関連施策を総合的に展開してきました。
- とりわけ、人づくりについては、すべての活力の原動力となることから、将来を担う若手リーダーの発掘・育成に重点を置いて、地域づくりに取り組む人材のプラットフォームを立ち上げました。また、活動の一層の活発化を後押しするための参加型プロジェクトとして、中山間地域全域を対象に「ひろしま さとやま未来博2017」を開催し、1万3千人を超える方々による運営参画を得る中で、若い世代を中心に、地域づくりに意欲的に取り組む動きが広がりを見せ始めているところです。
- こうした中で、平成30年度は、これらの成果をより確かな軌道に乗せていく必要があることから、意欲ある人材の新たなチャレンジ機会の創出やサポート体制の仕組みづくりに取り組み、実践活動の継続・発展を後押しするとともに、中山間地域の価値に共鳴する多様な人材を更に増やし、地域資源を積極的に活用した中山間地域ならではの仕事づくりや新しい価値の創造につなげていきます。
- また、中山間地域に若い世代が安心して住み続けられるよう、これまで継続的に実施してきた安心な暮らしを支えるための環境整備についても、切れ目なく着実に推進し、施策の3本柱全体の中長期的な好循環を目指します。

『中山間地域振興計画』関連主要事業の予算額

H29年度との比較	29	93.5億円	⇒	30	85.3億円 (▲8.2億円)
					※平成29年度2月補正(4.6億円)を含む
H20年度との比較	20	51.3億円	⇒	30	85.3億円 (1.7倍)
					※ 新たな過疎対策を重点分野と位置付けた初の予算

注) 事業費は、「中山間地域振興計画」に基づき、主に中山間地域に関わりの深い事業の事業費を合計したものであり、その他の「県内全域を対象に取り組む関連事業」の事業費は、別途(参考)として一覧にまとめている。

2 計画の目指す姿と3つの視点

目指す姿

里山・里海に象徴される人と自然が作り出す中山間地域ならではの環境が、内外の人々により引き継がれる中で、

将来に希望を持ち、安心して心豊かに、
笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

3つの視点

視点①

地域の基盤や特性を強みとして活かす

～豊かな資源や人のつながりなど、それぞれの地域が有する基盤や特性に光を当て、強みとして活かし、その魅力や豊かさを向上させる視点

視点②

価値に共鳴する人を増やす

～中山間地域の価値を高めることの大切さに共鳴する地域内外の人を増やしていく視点

視点③

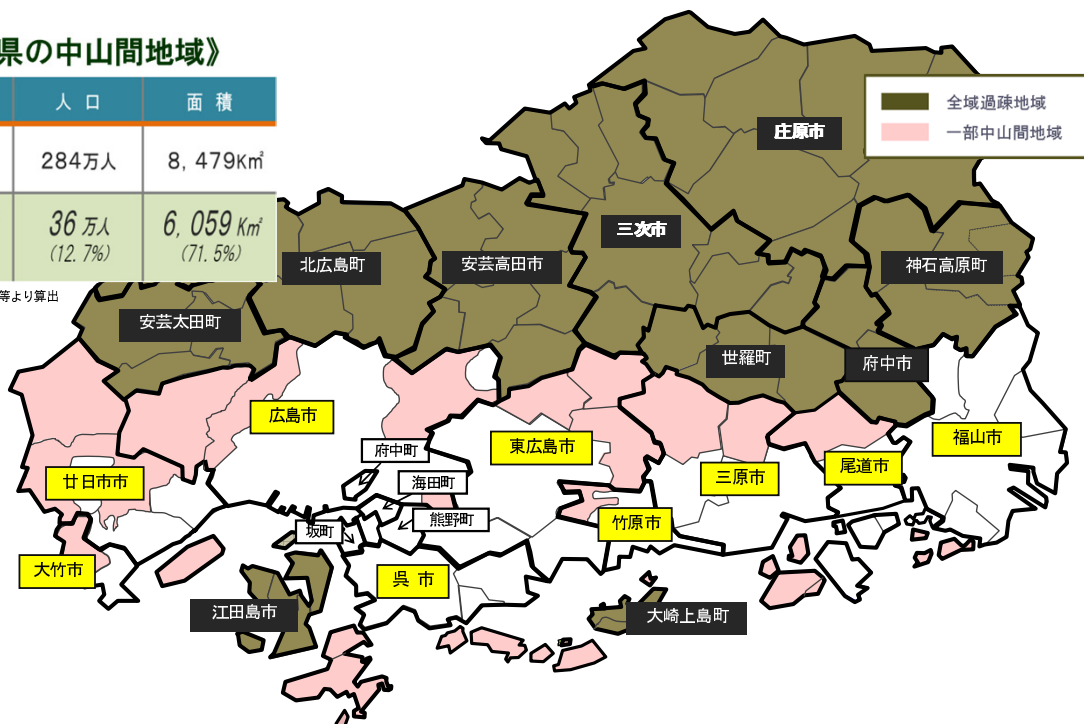
現在の暮らしを支える

～地域に住み続ける県民が、安心して生活を送ることができるよう、現在、営まれている地域の暮らしを支える視点

《広島県の中山間地域》

区分	人口	面積
県	284万人	8,479km ²
中山間 (構成比)	36万人 (12.7%)	6,059 km ² (71.5%)

H27国勢調査等より算出



3 計画に基づく施策体系

将来に希望を持ち、安心して心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

施策の柱（取組の方向）

■ 多様な力でつながる
人づくり

協働・連携・交流

- 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

教育

- 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

定住

- 若い世代を呼び込む地域環境の創造

■ 夢をカタチにできる
仕事づくり

元気な農林水産業

- 担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立

事業展開・創業支援

- 地域特性を活かした事業展開や創業の促進

観光

- 地域資源を活かしたスロートーリズムの促進

■ 安心を支える
生活環境づくり

地域医療

- 地域医療提供体制の確保

地域包括ケア

- 地域包括ケア体制の確立

子育て支援

- 子育て環境の充実

居住環境

- 居住環境の整備

環境保全

- 里山・里海の環境保全

防災・基盤

- 災害に強い地域づくり

施策の小柱

4 計画の推進に向けた施策別の主な取組

(1) 多様な力でつながる 人づくり

H30 主な事業費 2.0 億円

目指す姿

「中山間地域振興計画」(抜粋)

- ◆ 中山間地域の価値に共鳴する人たちの外部からの移住が進むとともに、地域を支えるリーダーや地域内外の人たちの意志と活力、ネットワークによって、自主的・主体的な活動が幅広く展開されています。
- ◆ また、地域の将来を見据え、学校と地域が連携して未来を創る人材の能力や才能を伸ばす機会が確保され、将来の地域の担い手が育成される環境が整っています。

《目指す姿を実現するための施策》

協働・連携・交流

① 多様な主体による 自主的・主体的な地域づくり

主な枠組み

- 地域における《つながり力》の強化と活躍人材の育成・ネットワークづくり
- 里山・里海体験交流の促進

教育

② 地域を誇り 未来を創る人材を育てる教育

主な枠組み

- 地域の次代を担う人材の育成
- 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり

定住

③ 若い世代を呼び込む 地域環境の創造

主な枠組み

- 首都圏等からのU・Iターンの促進
- 多業を実践する人材(マルチワーカー)を応援する仕組みづくり

① 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

人口減少や少子高齢化が進む中山間地域を支えていくためには、地域づくりの原動力となる多様な人材の活動を一層活発化させる必要がある。

このため、「さとやま未来博」を契機として広がりを見せている地域づくり活動の継続・発展を積極的に後押しするとともに、実践者の更なる拡大に向けて、新たな人材の育成・確保に向けた取組を推進する。

主な指標	目標水準
◇ 地域づくり活動をリードする人材の育成	(H30) 290人

【施策の主な枠組み】

● 地域における《つながり力》の強化と活躍人材の育成・ネットワークづくり

地域づくり活動に意欲ある人材の活動を支援するため、新たなチャレンジ機会の創出や多様な主体と連携したサポート体制の仕組みづくりに取り組むとともに、新たな若手リーダーの育成や人材のネットワークづくりを推進

また、市町と連携して、地域貢献に意欲を持つ首都圏の若者と地域のマッチングを図る取組を推進

■ひろしま里山・人材力加速化事業【一部新規】 32百万円

【チーム500ブラッシュアップ】

- ・クラウドファンディング(※1)を活用した課題解決への支援
- ・「チーム500支援」コンソーシアム(※2)の設置
- ・地域づくり実践者の相談窓口となる「サポートデスク」の設置
- ・「チーム500」の運営

※1：インターネット上で多数の人から資金を募る仕組み

※2：互いに力を合わせて目的を達するための異なる企業や団体などで構成された組織

【新たな人材の育成・機運醸成】

- ・地域リーダーの育成に向けた「ひろしま《ひと・夢》未来塾」の開講(2コース)
- ・里山にあるものを生かした好事例の表彰と取組の映像化
- ・地域づくりに向けたワールド・カフェの開催(県内3地域)
- ・中国5県連携による里山実践者交流会の開催

■ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト 19百万円

- ・首都圏での事業説明会、セミナー等の実施
- ・現地実習の実施(6市町程度)
- ・参加者によるプランのプレゼンテーションの実施

● 里山・里海体験交流の促進

豊かな自然や伝統文化，農山漁村での生活体験など，中山間地域ならではの特色を強みとして活かした交流を促進するため，農山漁村生活体験ホームステイの受入に向けた市町等の取組を支援

■ 体験型修学旅行誘致支援事業 2百万円

- ・ 体験型修学旅行の受入市町等への支援

■ 「山・海・島」体験活動ステップアップ事業【一部新規】 41百万円

- ・ 宿泊体験期間 3泊4日
- ・ 体験活動専門指導員，看護師，特別な配慮が必要な児童への支援員の派遣に関する経費補助
- ・ 体験活動に引率する教職員の旅費を支援
- ・ 連絡協議会や実践発表会を実施

② 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

地域の将来の担い手となる子供が、次世代のリーダーとして、将来にわたって活躍するためには、地域への理解や愛着を深めることが重要であり、市町と連携して、各学校における地域の特色を活かした教育活動を支援する。

主な指標	目標水準
◇ 地域に貢献しようとする意欲を持っている中山間地域の県立高校生徒の割合	(H28) 46.5% ⇒ (H32) 80.0%

【施策の主な枠組み】

● 地域の次代を担う人材の育成

地域の次世代のリーダーとして活躍できるような人材を育成するため、中山間地域の次代を担う高校生が、地域・市町と一体となり、地域の活性化に向けた取組を行うことを通して、地域への愛着や理解を深め、地域に貢献しようとする意欲の向上を図る取組を推進

■ 中山間地域の次世代を担うリーダーの育成 (非予算)

- ・学校、地域関係者、市町によるプロジェクト・チームで作成した地域活性化プランの実施結果を踏まえた取組内容の検証等

● 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり

平成26年2月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」(平成26年度～平成35年度)を着実に推進し、地域の特性や社会のニーズに対応した魅力ある高等学校を整備

■ 魅力ある高校づくり推進事業 6百万円

- ・1学年1学級規模校の活性化に向けた取組に対する支援
- ・「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」の推進に係る調査・研究

(その他の関連事業)

- 小中学校教育環境充実支援事業

③ 若い世代を呼び込む地域環境の創造

若い世代の流出が続く中山間地域において、東京圏等から広島への新しい人の流れを生み出していくため、自然と都市が融合した広島らしいライフスタイルを広く紹介し、本県への移住に向けた検討を促すとともに、個々の移住希望者の具体的なニーズに応じたきめ細かなサポートや、県内各地の空き家の掘り起こしなど、定住の受け皿づくりを市町や関係団体等と一体となって進める。

主な指標	目標水準
◇ 県外からの定住世帯数 (定住施策捕捉分)	(H28) 149世帯 ⇒ (H30) 141世帯

【施策の主な枠組み】

● 首都圏等からのU・ターンの促進

東京圏で高まりつつある地方移住の機運を取り込み、移住・定住につなげる仕組みづくりを推進するため、「都市と自然の近接性」などの地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力発信や空き家の有効活用に向けた取組などを推進

■ ひろしまスタイル定住促進事業【一部新規】 96百万円

〔広島らしいライフスタイルの魅力発信〕

- ・ホームページや雑誌等による情報発信
- ・インターネットマーケティングの手法を用いた情報発信
- ・市町や企業等と連携した定住フェアの実施

〔移住希望者と地域のマッチング〕

- ・相談窓口の運営, 相談者の来広支援
- ・就職, 起業に係るサポート
- ・AIを活用した相談対応の仕組みづくり

〔移住者に対する受け皿づくり〕

- ・地域と連携した移住促進施策の実施等
- ・交流定住促進協議会への参画

■ 空き家活用検討事業 9百万円

- ・空き家バンクHPによる情報発信, 市町や地域への専門家派遣等
- ・空き家活用人材ネットワーク交流会の開催

(2) 夢をカタチにできる **仕事** づくり

【2月補正含む】

H30 主な事業費 **56.7 億円****目指す姿**

「中山間地域振興計画」(抜粋)

- ◆ 中山間地域に暮らしながら、多様な人たちが、地域ならではの資源や基盤を活かして、新たな事業にチャレンジできる環境が整っています。
- ◆ また、地域資源を活かした魅力ある観光地づくりや体験型メニューが充実し、里山・里海ならではのスロートーリズムが浸透しています。

《目指す姿を実現するための施策》

元気な農林水産業

① 担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立

主な枠組み

- 農業 ~担い手の経営力強化、県産農産物の生産拡大
- 畜産業 ~広島和牛の生産拡大
- 林業 ~競争力のある県産材の供給体制の構築
- 水産業 ~特色ある瀬戸内地魚のブランド化、
かき生産体制の構造改革
- 産消連携・6次産業化の推進
- 持続的な農業生産活動の推進

事業展開・創業支援

② 地域特性を活かした事業展開や創業の促進

主な枠組み

- 地域《しごと創生》に向けたチャレンジ支援
- 雇用機会の創出・就業促進

観光

③ 地域資源を活かしたスロートーリズムの促進

主な枠組み

- 魅力ある観光地づくりと観光情報発信の強化
- 体験型観光の推進

① 担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立

中山間地域において、農林水産業が所得や雇用を生み出す地域産業の核となるためには、担い手が将来の生活設計を描くことができ、安心して就業ができる経営環境を構築する必要がある。

そのため、園芸産地の拡大とそれを支える担い手の確保・育成を進めるとともに、木材需要の創出や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築や、地域の核となる魚種の集中放流などに取り組む。

また、農林水産業のグローバル化による影響も考慮しつつ、経営体質の一層の強化を図るため、広島和牛の競争力強化や農林水産物のブランド化・高付加価値化などに取り組む。

主な指標	目標水準
(農業) ◇ 農産物の生産額(畜産除く)	(H28) 729億円 ⇒ (H30) 711億円
(畜産業) ◇ 広島和牛出荷頭数	(H28) 3,515頭 ⇒ (H30) 4,540頭
(林業) ◇ 県産材(スギ・ヒノキ)生産量	(H28) 32.0万m ³ /年 ⇒ (H30) 35.8万m ³ /年
(水産業) ◇ 担い手グループ数 ◇ かき生産額	(H28) 25グループ ⇒ (H30) 29グループ (H28) 176億円 ⇒ (H30) 174億円
(産消連携・6次産業化の推進) ◇ 6次産業化の市場規模	(H27) 186億円 ⇒ (H30) 214億円
(持続的な農業生産活動の推進) ◇ 農作物鳥獣被害額	(H28) 397百万円 ⇒ (H30) 380百万円

【施策の主な枠組み】

● 農業 ～担い手の経営力強化と県産農産物の生産拡大

農産物の生産額の増加を図るため、大規模な農業参入意向のある企業への農業参入や経営規模の拡大を目指す経営体の企業経営への転換を支援するとともに、担い手の経営発展や園芸産地等の拡大を加速化させるため、担い手への農地集積や経営リスク軽減などを一体的に支援

■企業連携型農業参入促進事業【新規】 23百万円

・大規模な農業参入意向を持つ県内食品関連企業と全国の先進的農業企業との連携を支援 等

■経営力向上支援事業【新規】 11百万円

・大規模な拡大意向のある経営体に対し、県と外部専門家で構成するチームにより経営力の向上を支援

■ひろしま農業創生事業 97百万円

・園芸品目の作付を行う担い手に農地を貸し付ける所有者等に対し、協力金を交付
 ・園芸産地の拡大や担い手の経営高度化に向けた簡易な基盤整備の実施
 ・担い手の経営リスクを軽減し、園芸品目等の導入を図るためのリース事業を支援

● 畜産業 ～広島和牛の生産拡大

持続可能な和牛生産体制の構築に向けて、乳用牛への受精卵移植による和牛の増産や肥育経営体への安定的な受精卵産子の供給に向けた仕組みの構築

■広島和牛経営発展促進事業【一部新規】 13百万円

・高い受胎率が期待できる和牛受精卵の供給を実施
 ・酪農経営と肥育経営における受精卵産子の供給協定の拡大に向けた取組を実施
 ・畜産経営体の経営発展課題を解決するための指導を実施
 ・借換資金の貸付けを行った融資機関に対する利子補給を実施

● 林業 ～競争力のある県産材の供給体制の構築

林業・木材産業の成長産業化を実現するため、木材需要の創出対策や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築について、川上から川下までの総合的な取組を実施

■林業・木材産業等競争力強化対策事業【一部新規】 613百万円【2月補正を含む】

・間伐材生産、路網整備、高性能林業機械等の導入を支援
 ・間伐材・林地残材等の活用に資する木質バイオマス利活用施設の整備を支援

● 水産業 ～特色ある瀬戸内地魚のブランド化とかき生産体制の構造改革

漁獲量の増加に向けた、地域の核となる魚種の集中放流等による水産資源の増大と、漁業所得の向上に向けたグループによる効率的な流通・販売体制の構築及び漁業就業者研修やリース漁船の導入を支援

また、広島かきの安定的な生産に向けて、カキの種苗不調の原因分析を踏まえた、科学的な根拠に基づく種苗の確保対策を確立

■瀬戸内水産資源増大対策事業 288百万円

- ・重点魚種(ガザミ、カサゴ、オニオコゼ、キジハタ)の集中放流及び放流効果の調査
- ・販売力強化やグループ活動の開始に必要な施設整備を支援
- ・就業から経営の確立まで一貫した研修やリース漁船の導入を支援

■広島かき養殖安定化対策事業【新規】 10百万円

- ・広島湾のかき幼生の分布動態調査及び漁場環境調査の実施
- ・既存の海域環境データのデータベース化の実施
- ・かき親貝における産卵誘発技術の開発

● 産消連携・6次産業化の推進

販売力の強化を通じた担い手の所得向上を図るため、県産農林水産物等の登録制度や県内外での販路開拓を推進するとともに、2次・3次事業者との連携による農林水産物のブランド化・高付加価値化を促進

■6次産業化総合支援事業 38百万円

- ・6次産業化に向けた施設整備、商品開発等を支援
- ・県産農林水産物等を対象とする「広島県産応援登録制度」の運営及び販路開拓等を推進

● 持続的な農業生産活動の推進

効果的な鳥獣被害防止対策を推進するため、市町単位で人材育成や被害防止施設等の対策を重点的に実施するとともに、持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための活動を支援

■鳥獣害に強い集落等育成推進事業 124百万円

- ・鳥獣被害対策指導者等の育成や捕獲技術の向上を図るための各種研修等の実施

■農業・農村多面的機能支払事業 928百万円

- ・持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や、道水路や農村環境の適切な保全活動を支援

「※一部」は、全体事業のうち中山間地域に関わりの深い事業のみを対象

② 地域特性を活かした事業展開や創業の促進

事業所や商店の閉鎖等により就業の場が減少している中山間地域においては、これまで取り組んできた雇用対策等に加え、新たな就業機会を生み出していく必要があるため、中山間地域ならではの資源を強みとして、サテライトオフィスの誘致促進や未来創造計画に基づく市町の産業対策への取組を支援する。

主な指標	目標水準
◇ 年間創業件数 (全域過疎市町)	(H28) 27件 ⇒ (H32) H25の水準(25件)を確保

【施策の主な枠組み】

● 地域《しごと創生》に向けたチャレンジ支援

廃校施設や古民家などの既存施設を活かして、企業のサテライトオフィスの誘致等に取り組む市町を支援するとともに、中山間地域における多様な働き方のイメージアップを図るための情報発信を促進

また、市町の産業対策を基本とした計画に基づく主体的な取組を支援

■ チャレンジ・里山ワーク拡大事業【新規】 60百万円

- ・市町が廃校などの遊休施設等を活用して「お試しオフィス」を整備する場合の経費の一部を支援
- ・サテライト展開に関心のある企業等を対象に、市町が事前案内のモニターツアーを実施する経費を支援
- ・ビジネス誌等を活用した情報発信

■ 中山間地域の未来創造支援事業 (非予算)

- ・市町の未来創造計画の実施に対する支援
- 《支援対象》 計画実施中の全域過疎地域指定7市町及び一部中山間地域指定6市

● 雇用機会の創出・就業支援

中山間地域への企業誘致を促進するため、当地域への立地企業に対する雇用奨励金を拡充する市町への支援等を促進

■ 企業立地促進対策事業【一部新規】 ※一部 141百万円

- ・市町が中山間地域で雇用奨励金制度を拡充させる場合に、その一部を補助(市町補助)
- ・情報サービス業等のオフィス誘致における市町の補助(賃料・通信回線使用料)と同額を補助
- ・工場や試験研究施設など、企業が県内へ設備投資を行う場合に、その一部を補助

③ 地域資源を活かしたスロートーリズムの促進

里山・里海の豊かな自然や伝統文化など、中山間地域ならではの観光資源を効果的に活かした誘客と周遊促進を図るため、観光客のニーズに応じた多様なプロダクトの開発を実施するとともに、冬季スキーや農山漁村の生活体験など、中山間地域の特色を活かした観光客及び修学旅行生の誘致促進を図る。

主な指標	目標水準
◇ 年間総観光客数 (全域過疎市町)	(H28) 1,568万人 ⇒ (H30) 前年高水準を確保

【施策の主な枠組み】

● 魅力ある観光地づくりと観光情報発信の強化

観光客の滞在時間の延長や周遊促進に向け、より多くの観光消費の機会を提供するため、観光客のニーズに応じた多様なプロダクトの開発を実施

■ 観光地ひろしま推進事業【一部新規】 ※一部 135百万円

- ・市町等が行うプロダクト開発への支援
- ・民間事業者等の企画・開発力を活用したプロダクト開発

■ 広島島根連携・冬季誘客促進事業 17百万円

- ・広島県・島根県において、広域周遊観光の促進を図るための共同事業を実施
- ・関係市町及び県内全スキー場と連携した冬季誘客のためのプロモーション等の実施

● 体験型観光の推進

平和学習と組み合わせた体験型修学旅行として、市町・関係団体と連携した誘致活動を展開することにより、修学旅行生の誘致促進を図るため、市町等の主体的取組を支援

■ 体験型修学旅行誘致支援事業 2百万円 (再掲)

- ・体験型修学旅行の受入市町等への支援

(その他の関連事業)

- 尾道松江線周辺地域活性化促進事業

(3) 安心を支える 生活環境 づくりH30 主な事業費 **26.6 億円****目指す姿**

「中山間地域振興計画」(抜粋)

- ◆ 医療・子育て・介護・生活交通など、日常生活に直結した課題について、地域や関係団体、企業、行政が連携して、安心な仕組みを構築し、心豊かに幸せを実感できる生活環境が整っています。
- ◆ また、里山・里海の豊かな自然環境や水源涵養などの機能が維持・保全されるとともに、災害を未然に防止し、局地的豪雨や高潮等による災害時の被害を最小限にするための、総合的な防災対策の仕組みや基盤が整っています。

《目指す姿を実現するための施策》**地域医療****① 地域医療提供体制の確保**

主な枠組み

- へき地医療に係る医師等確保対策の推進
- へき地医療に係る医療連携体制の確保

地域包括ケア**② 地域包括ケアシステムの強化**

主な枠組み

- 地域包括ケアシステムの強化

子育て支援**③ 子育て環境の充実**

主な枠組み

- 多様な形態・内容による養育サービスの提供
- 子育てにやさしい生活環境づくり

居住環境**④ 居住環境の整備**

主な枠組み

- 持続可能な生活交通体系の構築と生活航路の維持
- 中心地と周辺地域等との連携を支える基盤の整備

環境保全**⑤ 里山・里海の環境保全**

主な枠組み

- 森林の公益的機能の維持・発揮
- 健全な水循環等の確保

防災・基盤**⑥ 災害に強い地域づくり**

主な枠組み

- 県民の防災・減災意識の醸成
- 災害対処能力の向上

「※一部」は、全体事業のうち中山間地域に関わりの深い事業のみを対象

① 地域医療提供体制の確保

高齢化が進む中山間地域の医師不足の状況を踏まえ、地域に必要な医療体制を確保するため、若手医師の確保などに取り組むとともに、無医地区等への巡回診療など、へき地医療等の医療提供体制の維持・確保を図る。

主な指標	目標水準
◇ 医療施設従事医師数 (全域過疎市町)	(H28) 190.5人(人口10万人対) ⇒ (H30) 前回(H28)調査比増

【施策の主な枠組み】

● へき地医療に係る医師等確保対策の推進, 医療連携体制の確保

中山間地域等に就業する医師の確保を図るため、県地域医療支援センター等による医師確保に向けた取組を推進するとともに、無医地区等における安心な医療サービスの提供に向けて、へき地医療拠点病院による巡回診療など、必要な医療提供体制を確保

■ 地域医療介護総合確保事業【一部新規】 ※一部 513百万円

- ・広島大学ふるさと枠・岡山大学地域枠の医学生への奨学金を貸付
- ・広島大学医学部寄付講座の運営支援
- ・地域医療支援センター等による医師確保
- ・中山間地域等への就業促進を目的とした歯科衛生士の就学支援

■ 地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部 66百万円

- ・へき地医療拠点病院の機能連携及びへき地診療所の運営への支援

② 地域包括ケアシステムの強化

中山間地域をはじめ県内全ての地域において、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスが、切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムを強化する。

主な指標	目標水準
◇ 地域包括ケアシステム構築日常生活圏域数 (評価指標による評価が基準を満たす圏域)	(H28) 98圏域 ⇒ (H30) 125圏域 ※ 中山間地域以外の圏域も含む

【施策の主な枠組み】

● 地域包括ケアシステムの強化

高齢化の状況や医療、介護の社会資源等は地域によって異なることから、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムを着実に推進

■ 地域医療介護総合確保事業【一部新規】 ※一部 57百万円

- ・地域包括ケアシステムの強化に向けた人材育成・アドバイザー派遣等の重点的な市町支援

③ 子育て環境の充実

子育て環境は、若い世代の定住を促進する上で重要な要素であるため、中山間地域ならではの豊かな自然環境を活かし、多様化するニーズに応じた質の高い保育サービスの確保・充実を図るとともに、多様な主体の連携によって、どこに住んでいても安心して子育てできる環境づくりに市町と一体となって取り組む。

主な指標	目標水準
◇ 地域子育て支援拠点設置数 (全域過疎市町)	(H28) 36箇所 ⇒ (H30) 現行水準を確保

【施策の主な枠組み】

● 多様な形態・内容による養育サービスの提供

豊かな自然環境を活用した体験活動を取り入れた保育・幼児教育の普及を図るとともに、多様な保育サービス等の充実を図るため、病児保育等への支援や認定こども園等の整備、保育士等の人材確保を実施

■ 地域子ども・子育て支援事業(ひろしま型自然保育推進事業) 8百万円

- ・ひろしま自然保育認証制度に基づく認証団体の支援
- ・都市と自然が融合した本県の子育て環境の魅力のPR

■ 多様な保育サービス充実事業 (県内全域を対象とする関連事業の一部)

- ・認定こども園及び保育所等の整備等による保育の受入枠の確保
- ・保育士人材バンクの運営による潜在保育士等と保育施設のマッチング
- ・認可外保育施設を利用した場合の負担増に対する支援
- ・病児保育等に係る運営費や病児保育室の創設・改修に係る経費の市町への補助 等

● 子育てにやさしい生活環境づくり

全ての子育て家庭を対象とした子育て支援を充実するため、子育て家庭に対する情報提供や市町が実施する関連事業の取組を支援

■ 地域子ども・子育て支援事業 (県内全域を対象とする関連事業の一部)

- ・全ての家庭を対象として、地域子育て支援拠点や利用者支援事業等の子育て支援を充実
- ・地域子育て支援拠点の継続的な運営に必要な改修や設備整備に要する費用を補助

④ 居住環境の整備

中山間地域における通院や通学、買い物などの日常生活に不可欠な生活交通である路線バスや航路等について、移動手段を持たない高齢者等の生活交通を確保する観点から、国と連携して市町や交通事業者の取組を支援する。

主な指標	目標水準
◇ 路線バス等の生活交通が維持された市町数	(H29) 全中山間市町 ⇒ (H30) 現行を維持

【施策の主な枠組み】

● 持続可能な生活交通体系の構築と生活航路の維持

地域の暮らしや経済活動を支える広域的な生活交通を維持・確保するため、国や市町と連携し、路線や航路等を支援

■ 生活交通確保対策事業 454百万円

地域の暮らしや経済活動を支える広域的な生活交通を維持・確保するため、国や市町と連携し、広域的・幹線的な事業者バス路線を支援

・地域間幹線系統への支援(国・県)、広域生活交通路線への支援(県・市町)

■ 市町生活交通支援事業 106百万円

日常生活に必要な生活交通を維持・確保するため、路線バスやデマンド交通等の運行により効率的で持続可能な生活交通体系の再編・維持に取り組む市町を支援

・市町が運行する路線バス、デマンド交通への支援

■ 離島交通対策事業 75百万円

離島住民にとって必要不可欠な本土への唯一航路を維持するため、国の補助制度を補完して、離島航路所在市町を支援

■ 生活航路維持確保対策事業 69百万円

県民の暮らしや経済活動を支える広域的な生活航路を、将来にわたって安定的に確保するため、市町と連携し、適正な運航形態の維持に必要な経費の一部を補助

・離島の暮らしの維持に不可欠な航路への支援(県・市町)
・架橋で結ばれた地域の経済活動の維持に不可欠な時間短縮効果に優れた航路への支援(県・市町)

● 中心地と周辺地域等との連携を支える基盤の整備

■ 鉄道駅バリアフリー化施設整備補助事業 38百万円

市町が策定した生活交通確保維持改善計画に基づく鉄道駅のバリアフリー化設備の整備に必要な経費の一部を補助

・JR西日本が行う三次駅のバリアフリー化設備整備への支援(国・県・市)

⑤ 里山・里海の環境保全

森林の有する公益的機能の維持・発揮に向けて、多様な主体による自主的・継続的な森林保全活動を各地域へ拡大させ、県民参加の森づくりを進める。

また、地域の課題解決にもつながる環境保全活動を推進するための人材や仕組みを構築し、里山・里海を対象とした県民の自主的な活動の促進を図る。

主な指標	目標水準
◇ 森林ボランティア活動 延人数	(H28) 72,145人 ⇒ (H30) 76,000人
◇ 環境保全活動参加者数	(H30) 1,650人

【施策の主な枠組み】

● 森林の公益的機能の維持・発揮

県民全体が享受している県土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、県民全体で森林を守り育てる事業を実施

■ひろしまの森づくり事業 ※基金積立を除く 919百万円

- ・整備の必要性が高い森林の再生のため、県民生活への影響が大きいと想定される箇所
の集中的な対策等を実施
- ・森林資源の利用促進に向け、木造構造物における県産材利用拡大を推進
- ・新たな森の守り手の育成に向け、小規模林業経営者や地域住民等が自主的に行う森林
整備を支援
- ・県民理解の促進のため、市町と連携して取組内容や成果の広報を実施 等

● 健全な水循環等の確保

里山バイオマスの促進や海ごみ対策等、地域の特性やライフスタイルに応じた環境
保全活動を推進するための人材育成や仕組みを構築し、地域における自主的な活動
を促進

■「エコの力でひろしまを元気に」具体化推進事業 48百万円

- ・未利用材をバイオマス燃料として地域内で活用するための仕組みづくりに向けた立ち上げ支援
- ・廃棄物エネルギーの利用に係る市町への技術的な提案・助言
- ・海ごみの一斉清掃活動の推進や市町の海ごみ対策への支援

⑥ 災害に強い地域づくり

想定される被害を最小限に「減災」していく防災協働社会の実現を図るため、自らの身を守る「自助」、地域で助け合う「共助」、県・市町が行う「公助」の役割分担と連携を進め、社会全体で防災・減災対策に取り組む。

特に、「減災」の実現に向けては、県民一人ひとりが「災害から身を守る行動」を適切に取ることができるよう、県民・自主防災組織・事業者・行政等が一体となって「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を着実に展開する。

主な指標	目標水準
◇ 自主防災組織率	(H28) 91.7% ⇒ (H30) 94.0%

【施策の主な枠組み】

● 減災に向けた県民総ぐるみ運動の展開

「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の5つの行動目標を浸透させるため、行動目標の起点となる「知る」取組を継続しつつ、「実践」に力点を置いた取組を推進

■「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業【一部新規】

(県内全域を対象とする関連事業)

- ・報道機関と連携した、テレビ、ラジオ等を通じた定期的な広報活動等の実施
- ・インターネット広告による防災情報メール登録への誘導
- ・高齢者サロン等を対象とした防災の担い手の掘り起し
- ・自主防災組織の活動を推進する人材である「防災リーダー」を養成する市町を支援
- ・自主防災組織の設立機運が高まらない地区や、活性化していない組織へ「自主防災アドバイザー」を派遣して、継続的に指導助言
- ・他団体との連携による組織の活性化及び活性化の維持

《参考》

- 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)
- 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

《参考》 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)

(単位:百万円)

区 分	事業名	新規等	事業費	局 名	
人 づ く り	協働・連携・交流	ひろしま里山・人材力加速化事業	一部新規	32	地域
	協働・連携・交流	ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト		19	地域
	協働・連携・交流	中国地方中山間地域振興事業		1	地域
	協働・連携・交流	「山・海・島」体験活動ステップアップ事業	一部新規	41	教育
	教 育	中山間地域の次世代を担うリーダーの育成		(非予算)	教育
	教 育	魅力ある高校づくり推進事業		6	教育
	定 住	ひろしまスタイル定住促進事業	一部新規	96	地域
	定 住	空き家活用検討事業		9	土木
小 計			204		
仕 事 づ く り	元気な農林水産業	企業連携型農業参入促進事業	新規	23	農林
	元気な農林水産業	経営力向上支援事業	新規	11	農林
	元気な農林水産業	新規就農者育成交付金事業		288	農林
	元気な農林水産業	農地中間管理事業(基金積立除く)		168	農林
	元気な農林水産業	農業ビジネス経営力向上事業		14	農林
	元気な農林水産業	農地集積加速化支援事業		153	農林
	元気な農林水産業	ひろしま農業創生事業		97	農林
	元気な農林水産業	農産物生産供給体制強化事業	【2月補正を含む】	291	農林
	元気な農林水産業	家畜人工授精事業		27	農林
	元気な農林水産業	広島和牛経営発展促進事業	一部新規	13	農林
	元気な農林水産業	畜産競争力強化対策事業	【2月補正】一部新規	20	農林
	元気な農林水産業	卸売市場整備事業	新規	20	農林
	元気な農林水産業	森林整備地域活動支援事業		38	農林
	元気な農林水産業	地域森林計画編成費	一部新規	42	農林
	元気な農林水産業	林業・木材産業等競争力強化対策事業【2月補正を含む】	一部新規	613	農林
	元気な農林水産業	瀬戸内水産資源増大対策事業		288	農林
	元気な農林水産業	広島かき養殖安定化対策事業	新規	10	農林
	元気な農林水産業	ひろしま地産地消推進事業		4	農林
	元気な農林水産業	6次産業化総合支援事業		38	農林
	元気な農林水産業	中山間地域等直接支払事業		2,100	農林

(単位:百万円)

区 分	事業名	新規等	事業費	局 名	
仕事づくり	元気な農林水産業	鳥獣害に強い集落等育成推進事業	124	農林	
	元気な農林水産業	農業・農村多面的機能支払事業	928	農林	
	事業展開・創業支援	チャレンジ・里山ワーク拡大事業	新規	60	地域
	事業展開・創業支援	中山間地域の未来創造支援事業		(非予算)	地域
	事業展開・創業支援	企業立地促進対策事業 ※一部	一部新規	141	商工
	観 光	観光地ひろしま推進事業 ※一部	一部新規	135	商工
	観 光	広島島根連携・冬季誘客促進事業		17	商工
	観 光	体験型修学旅行誘致支援事業		2	商工
	観 光	尾道松江線周辺地域活性化促進事業		1	地域
	小 計			5,665	
生活環境づくり	地域医療 地域包括ケア	地域医療介護総合確保事業 ※一部	一部新規	570	健康
	地域医療	地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部		66	健康
	地域医療	自治医科大学関係費		132	健康
	地域医療	へき地医療対策費(へき地等巡回診療費)		6	健康
	地域医療	医療施設整備費補助金(へき地医療拠点病院設備整備等)		77	健康
	子育て	地域子ども・子育て支援事業(ひろしま型自然保育推進事業)		8	健康
	居住環境	生活交通確保対策事業		454	地域
	居住環境	市町生活交通支援事業		106	地域
	居住環境	離島交通対策事業		75	地域
	居住環境	生活航路維持確保対策事業		69	地域
	居住環境	鉄道駅バリアフリー化施設整備補助事業		38	地域
	居住環境	交番・駐在所整備事業 ※一部		68	警察
	環境保全	ひろしまの森づくり事業(基金積立除く)		919	農林
	環境保全	「エコの力でひろしまを元気に」具体化推進事業		48	環境
環境保全	中央森林公園施設改修事業		22	環境	
小 計			2,659		
合 計			8,528		

注) ・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。
 ・「※一部」と表記されている事業は、全体事業のうち中山間地域に関わりの深い事業のみを対象としている。

《参考》 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

(単位:百万円)

区 分	事業名	新規等	事業費	局 名	
人づくり	協働・連携・交流	けんみん文化祭開催事業	22	環境	
	教 育	小中学校教育環境充実支援事業	12	教育	
	教 育	広島県「教師養成塾」事業	2	教育	
	教 育	広域公園管理事業	289	土木	
仕事づくり	事業展開・創業支援	創業・新事業展開等支援事業	一部新規	324	商工
	事業展開・創業支援	小規模事業経営支援事業費補助金		2,336	商工
	事業展開・創業支援	企業立地促進対策事業 ※一部	一部新規	659	商工
	事業展開・創業支援	女性の活躍促進事業	一部新規	111	商工
	事業展開・創業支援	男性の育児休業等促進事業		7	商工
	事業展開・創業支援	働き方改革推進事業 ※一部	一部新規	22	商工
	観 光	観光地ひろしま推進事業 ※一部	一部新規	251	商工
生活環境づくり	地域医療	地域医療体制確保事業(救急医療等) ※一部		273	健康
	地域医療 地域包括ケア	地域医療介護総合確保事業 ※一部	一部新規	2,976	健康
	地域包括ケア	保険者機能強化支援事業		12	健康
	地域包括ケア	社会福祉人材育成センター設置事業		18	健康
	子 育 て	「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト	一部新規	61	教育
	子 育 て	地域学校協働活動推進事業	一部新規	56	教育
	子 育 て	地域子ども・子育て支援事業 ※一部		739	健康
	子 育 て	多様な保育サービス充実事業 ※一部		2,646	健康
	子 育 て	保育対策等促進事業		34	健康
	子 育 て	未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業	一部新規	147	健康
	子 育 て	子育て環境改善事業		19	健康
子 育 て	子育て支援従事者の育成・資質向上事業		21	健康	

(単位:百万円)

区 分	事業名	新規等	事業費	局 名	
生活環境づくり	子育て	子育てポータルサイト運営事業	5	健康	
	子育て	寄附を活用した子育て応援事業	3	健康	
	環境保全	国定公園等整備事業	87	環境	
	環境保全	公園施設整備事業	84	環境	
	環境保全	公園施設維持修繕事業	74	環境	
	環境保全	狩猟者育成事業	7	環境	
	環境保全	生物多様性保全推進事業	5	環境	
	環境保全	生活排水処理対策推進事業	124	環境	
	環境保全	瀬戸内海環境保全推進事業 ※一部	1	環境	
	環境保全	産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部	224	環境	
	防災・基盤	「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業	一部新規	55	危機
	防災・基盤	インフラ長寿命化技術活用促進事業		14	土木

注) ・ 端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・ 「※一部」と表記されている事業は、全体事業のうち中山間地域に関連する事業のみを対象としている。

(合計:11,721 百万円)